

第61回 日伊声楽コンクール入賞者披露特別コンサート

イタリアの歌

名曲コンサート

第61回日伊声楽コンクール入賞者
及び 豪華ゲストがお届けする
名曲の数々をお楽しみください

砂川涼子(ソプラノ)
Ryoko Sunakawa, soprano

©Yoshinobu Fukaya

須藤慎吾(バリトン)
Shingo Sudo, baritone



第1位

池田 真己(バリトン)
Masaki Ikeda, baritone



第2位

伊藤 尚人(バリトン)
Naoto Ito, baritone



第3位

東山 桃子(ソプラノ)
Momoko Toyama, soprano

第1部

第61回 日伊声楽コンクール1~3位入賞者

池田 真己/バリトン

G.ヴェルディ: 歌劇「仮面舞踏会」より“おまえこそ心を汚すもの”

G. Verdi: «Un Ballo in Maschera» “Eri tu che macchiavi quell'anima”

伊藤 尚人/バリトン

G.ロッシーニ: 「セビリヤの理髪師」より“私は街の何でも屋”

G. Rossini: «Il barbiere di Siviglia» “Largo al factotum”

東山 桃子/ソプラノ

プッチーニ: 「ラ・ボエーム」より“私の名はミミ”

G. Puccini: «La Bohème» “Mi chiamano Mimi”

第2部

砂川涼子/ソプラノ

G.ロッシーニ: 歌劇「ランスへの旅」より“黄金の百合が落とす快い影に”

G. Rossini: «Il viaggio a Reims» “All'ombra amena”

須藤慎吾/バリトン

V.ベッリーニ: 歌劇「清教徒」より“ああ、永遠に私は貴女を失うでしょう”

V. Bellini: «I Puritani» “Or dove fuggo io mai... Ah per sempre io ti perderò”

砂川・須藤/二重唱

G.ヴェルディ: 歌劇「椿姫」より“天使のように純粋な娘を”

G. Verdi: «La Traviata» “Pura siccome un angelo”

他 ※曲目は変更となる場合がございます。

河原 忠之(ピアノ)

Tadayuki Kawahara, piano

©K.Mura

2025

11.15 [土]

14:00開演(13:30開場) よみうり大手町ホール

チケット(税込)全席指定: 5,000円/学生券 2,500円(30歳未満・要学生証)

チケットお申込み: ●イープラス <https://eplus.jp/> (PC&携帯) ●チケットぴあ <https://t.pia.jp/> (PC&携帯) (Pコード:308-915)

●ローソンチケット <https://l-tike.com/> (PC&携帯) (Lコード:31489)

●日本オペラ振興会チケットセンター 03-6721-0874 (平日10:00~18:00)

チケット 9月13日(土)一般発売開始

主催: 日伊音楽協会、読売新聞社 後援: 文化庁、イタリア文化会館、日伊協会

特別協賛: YKK株式会社 特別協力: 西宮市プレラホール

協賛: 日本通運株式会社、NX商事株式会社、トヨタモビリティ東京株式会社、ネットヨコ大阪株式会社、鹿島建設株式会社、

株式会社ケン・コーポレーション、山崎製パン株式会社、ヤマザキビスケット株式会社、日清製粉株式会社、オリエンタル酵母工業株式会社、

ミヨシ油脂株式会社、月島食品工業株式会社、湖山医療福祉グループ 助成: 江副記念リクルート財団

お問合せ: 株式会社 AMATI Tel.03-3560-3010 〒107-0052 東京都港区赤坂1-14-5-S103 <https://www.amati-tokyo.com>



東京都千代田区大手町1-7-1 大手町駅 C3出口 直結

日伊声楽コンクールは、日本のオペラ界を担う人材の発掘と育成を目指して1964年に始まり、今年で61回を迎えることができました。

これまでイタリア・オペラのアリアと歌曲を課題曲とする、きわめて専門的で芸術性の高いコンクールとして知られています。

本年は109人の応募者の中から1次、2次予選、そして本選を勝ち抜いた3名が入賞の栄誉に輝きました。

この「イタリアの歌 名曲コンサート」は入賞者3名にとって日本のオペラ界へのお披露目の場となります。

またすでに多くの舞台上で活躍めざましい2人のオペラ歌手、

砂川涼子さん(ソプラノ)と須藤慎吾さん(バリトン)がゲスト出演しステージを盛り上げてくれます。

PROFILE



©Yoshinobu Fukaya

砂川 涼子 [ソプラノ] Ryoko Sunakawa, soprano

可憐な舞台姿と聴くものの心を震わせる歌声で高い人気を誇るソプラノ歌手。武蔵野音楽大学、ならびに同大学大学院を首席で修了。第34回日伊声楽コンクール第1位、第69回日本音楽コンクール第1位、第16回五島記念文化賞・オペラ新人賞受賞、第12回R.ザンドナイ国際声楽コンクールでザンドナイ賞受賞など、数々の受賞歴を誇る。江副育英会オペラ奨学生、また五島記念文化財団の奨学生としてイタリアに留学。その実力に裏打ちされた歌唱は常に高い評価を得ている。とりわけ「ラ・ボエーム」のミミは、NHKでテレビ放送され、「歌唱・容姿ともに理想のミミ」と絶賛を博した。近年ではくオペラ夏の祭典2019-20でのバルセロナ響との「トゥーランドット」、日生劇場「トスカ」、新国立劇場「ジャンニ・スキッキ」「カルメン」「魔笛」、兵庫県立芸術文化センター「ラ・ボエーム」、東京フィル「ファルスタッフ」、藤原歌劇団「ファウスト」、東京芸術劇場「美しきエレース」、日本オペラ協会「夕鶴」「静と義経」他に出演。CD《ベルカント》《悲しくなったときは〜日本歌曲のしらべ》をリリース。藤原歌劇団団員。日本オペラ協会会員。武蔵野音楽大学講師。



須藤 慎吾 [バリトン] Shingo Sudo, baritone

国立音楽大学卒業、同大学院修了。第42回日伊声楽コンクール第1位、第37回イタリア声楽コンクールシエナ大賞。新国立劇場や藤原歌劇団の公演で「椿姫」「リゴレット」「アイダ」「蝶々夫人」「トスカ」「ルチア」等の主要役で出演し高い評価を得ている。近年は「ウィリアム・テル」や「静と義経」といったフランス作品や日本作品にも多数出演。オペラ以外では「NHKニューイヤーオペラコンサート」「第九」「カルミナ・ブラーナ」「レクイエム」などのコンサートにも出演。ソニー・ミュージックからCD「アリエ」、徳間ジャパンから最新CD「エズの扉」をリリース。国立音楽大学非常勤講師、藤原歌劇団団員。

第61回 日伊声楽コンクール1~3位入賞者



1 位

池田真己 [バリトン]

Masaki Ikeda, baritone

1990年生まれ。大阪府島本町在住。大阪府立春日丘高校を経て京都市立芸術大学卒業、同大学院修了。

第37回飯塚新人音楽コンクール第2位2019年オペラ「ラ・ボエーム」マルチェロ役で本格的にデビューし、同年NISSAY OPERA「ヘンゼルとグレーテル」父役で東京デビュー。島本音楽協会、茨木市音楽芸術協会、堺シティオペラ各会員。上方オペラ工房メンバー。これまで声楽を清原邦仁、折江忠道、松本薫平、上江隼人の各氏に師事。音声配信メディアVoicyのパーソナリティとして「オペラ歌手池田真己の楽屋話」を毎日配信中。X@da_masakino



2 位

伊藤 尚人 [バリトン]

Naoto Ito, baritone

常葉大学短期大学部音楽科卒業。同大学専攻科音楽専攻修了。2024年6月、歌劇「コジ・ファン・トゥッテ」

のドン・アルフォンソ役でオペラデビュー。同年7月、歌劇「リゴレット」でタイトルロールを演じる。2025年小澤征爾音楽塾オペラプロジェクト『椿姫』にてジョルジュ・ジェルモンのカヴァーキャストに抜擢。第9回静岡国際オペラコンクール入選。これまでに丸茂智以、羽山晃生、大槻孝志、横山修司、横山靖代各氏に師事。



3 位

東山 桃子 [ソプラノ]

Momoko Toyama, soprano

岩手県出身。東京藝術大学音楽学部声楽科を首席で卒業。同大学院音楽研究科声楽専攻修士課程修了。

学部在学中に安宅賞、卒業時に松田トシ賞・アカンサス音楽賞・同声会賞受賞。《ラ・ボエーム》ミミ役でオペラデビュー。《メサイア》や《ドイツ・レクイエム》など様々な宗教作品でソリストとして活躍している。サントリートホールオペラ・アカデミー在籍。これまでに杉浦真理、村松玲子、大村博美、菅英三子、G.Sabbatini、林康子の各氏に師事。



河原忠之 [ピアノ]

Tadayuki Kawahara, piano

日本を代表する錚々たる歌手たちから共演者として抜群の信頼を得る、日本の“歌”を支える声楽伴奏のスペシャリスト。アルド・プロッティ氏の伴奏ピアニストを務めた経験から紡ぎだされる幅広い音色と、イタリアで培った繊細な音楽表現には定評がある。2019年NHKニューイヤーオペラコンサートに出演した「太メン」男声オペラ歌手4人とのユニット、IL DEVU(イル・デーヴ)のメンバーであり、指揮者、企画プロデューサーとしても活躍。国立音楽大学卒業、同大学院修了。同大・同大学院教授、日本ヴェルディ協会理事、日伊声楽コンクール審査員。新国立劇場オペラ研修所でも音楽主任講師として長年後進の指導にあたってきた。

協会理事、日伊声楽コンクール審査員。新国立劇場オペラ研修所でも音楽主任講師として長年後進の指導にあたってきた。



奥田佳道 [音楽評論家]

Yoshimichi Okuda, music critic

東京生まれ。ヴァイオリンを学んだ後、ドイツ文学、西洋音楽史を専攻。ウィーン大学に留学。日本テレビ「深夜の音楽会」(現:読響プレミア)の司会を務めた。現在NHK「音楽の泉」、ラジオ深夜便「クラシックの遺伝子」に出演中。著書に「これがヴァイオリンの銘器だ」(音楽之友社)、「1冊でわかるポケット教養シリーズ〈バイオリンを知る本〉」(YAMAHA)ほか。

次のことをあらかじめご承知の上、チケットをお買い求め下さい。

①やむを得ない事情により、曲目等が変更になる場合がございます。公演中止を除き、お買い求めいただきましたチケットのキャンセル・変更等はできません。②いかなる場合もチケットの再発行はできません。紛失等には十分ご注意ください。③演奏中は入場できません。④未就学児の同伴はご遠慮下さい。また、就学児以上のお子様もご入場には1人1枚のチケットが必要です。⑤全指定席です。指定の座席にてご鑑賞下さい。⑥場内での写真撮影・録音・録画・携帯電話等の使用は固くお断りいたします。⑦ネットオークション等によるチケットの転売は、トラブルの原因になりますのでお断りいたします。⑧他のお客様のご迷惑となる場合、主催者の判断でご退場いただく場合がございます。